



ほけんのまどから



4月感染症情報

突発性発疹 乳児 3名

胃腸炎 乳児 1名

アデノウイルス 幼児 1名

新型コロナウイルス 幼児 4名

ヒトメタニューモウイルス 幼児 1名

近隣地域で胃腸炎が流行しています。

乳児さんはオムツ交換後の手洗いをを行い予防していきましょう。胃腸炎症状(下痢・嘔吐)が落ち着き、食事がとれるようになるまでお休みをお願いします。

子どもたちを

事故から守ろう！

*日本小児科学会 injury Alert から紹介します
2歳児、紙パック飲料ホルダー(プラスチック製)に指を入れ抜けなくなり指がうっ血して病院受診。

リング状の物や穴に指がはまり込み、締め付けられることで指が腫れ、血流が滞る状態の【指ターニケット症候群】と診断。生活環境に指を入れるような小さな穴がないか確認が必要です。



3歳、スーパーボールを誤飲し急性呼吸不全。(低酸素脳症で後遺症が残った事例もありました)夏祭りのスーパーボールすくいを取った物を自宅で口に入れ遊び、苦しがり声が出ない状態で発見。このスーパーボールは直径23mmであり、3歳児の最大開口口径の平均値である39mmより小さく簡単に口に入る。

これから夏祭りやイベントでスーパーボールや新しい物に触れる機会が増えるので誤飲に注意していき悲しい事故を防ぎましょう！

むしよけについて

園の周りにも蚊の姿がちらほら…子どもの皮膚は弱く、刺された後にかきむしることで【とびひ】になることも。家庭と園で虫よけ対策をしてお肌を守っていきましょう。

☆家庭でできること☆

- ・長袖・長ズボンを着る(速乾性のあるものがオススメ)
- ・お散歩前に薄手の長袖上着を用意
- ・虫よけをしてから登園する
- ・乳液等で肌を保湿する。バリア機能を高め肌荒れを予防します。

☆園でできること☆

- ・お散歩前には「イカリジン」成分配合の虫よけを肌に塗ります。子どもへの使用制限がなく、服の上からでも効果のあるものです。虫よけを直接吸い込まない様に配慮して使用します。
- *虫よけのパッチテストをされたい方は職員にお声掛けください。
- ・とち、幼児クラスは散歩時に虫よけ効果のあるスモックを着ていきます。

- ・窓付近・散歩車には吊り下げ式の虫よけを設置します。夕方は吊り下げ式の蚊取り線香を使用します。
- ・刺されてしまった場合はムヒを適宜使用します(乳児クラスはムヒベビー)

☆おねがい☆

- ・虫よけパッチ、ムヒパッチ、虫よけリングは誤飲の危険があるため使用できません。
- ・保育園内で虫よけスプレー缶の使用はできません(他のお子さんが吸い込む危険がある為。人によっては咳や喘息を誘発することがあります)
- ・虫よけリングなどをつけて登園する場合は、リュックやロッカーに入れず保護者の方がお持ち帰りください。(誤飲や紛失を防ぎます)



子供の口の大きさは

